広報かわづ

November 11

2026年 No.651



物語の、その先へ。

令和８年度民間広報協力員特集号

伊豆の踊子100周年

令和８年度民間広報協力員特集

伊豆の踊子100周年

小説『伊豆の踊子』が大正15年に発表されてから、今年でちょうど１００周年。舞台となった河津の景色は時代とともに変化し、作中描写の手がかりも徐々に失われつつあります。民間広報協力員による本特集では今一度作品を振り返り、川端康成が伊豆紀行をした当時に思いを馳せながら、作品の背景を深掘りしていきます。

小説『伊豆の踊子』物語のあらすじ

20歳の旧制高校生である主人公「私」は、孤児ゆえ歪んだ自らの性格に思い悩み、憂鬱から逃れようと伊豆へ旅に出ます。修善寺、天城湯ヶ島、そして湯ケ野に至る道中で旅芸人の一行と出会い、湯ケ野から下田までの数日間をともにします。「私」は踊子・薫に惹かれつつも彼女の子どもらしい純粋さに心打たれ、また一行の素朴な温かさに触れることで少しずつ心がほぐれていきます。下田で一行と別れ、東京行きの船の中で清々しい涙を流すのでした。

作中に登場する「旅芸人」とは、定住せずに旅をしながら芸能を披露し生計を立てる人のことであり、一般に低い身分の職業とされていました。一方、主人公は帝国大学への進学を確約されているエリートの卵であることから、踊子たち旅芸人と主人公とのあいだには確たる身分の差が存在することになります。そうした状況でありながら、薫やその兄・栄吉と主人公は懇意になり、何日も一緒に過ごし、その帰結として主人公の心が晴らされていく、というストーリーになっています。





▲福田家から見た共同湯





▲福田家の内湯（左）と入口（右）

河津との関わり

天城峠を越えた一行は「荻乗（おぎのり）や梨本」を過ぎて湯ケ野に到着し、ここで3泊します。この際、旅芸人は簡素な宿泊所である木賃宿（きちんやど）（大野屋・現在では正確な位置は不明）に滞在し、夜は近隣の料理屋に出向いて芸を披露、入浴は川沿いの共同湯を利用します。一方、主人公は川向こうの温泉宿（福田家）に泊まりますが、内湯から河津川を挟んで共同湯が見える配置になっており、2日目に踊子が裸のまま手を振る名場面につながります。現在でも、湯ケ野共同湯と福田家の内湯は同じ位置関係にあります。

旅芸人は伊豆大島・波浮（はぶ）出身の「百合子」のほかは甲州の出であり、伊豆の出身者はいません。温泉宿の女将や料理屋の客といった湯ケ野の人々のほかに、唯一登場する河津の人間が、東京行きの船中で同乗した学生です。実家が工場で、進学のために東京へ行くところであったこと、涙を流す主人公に声をかけ、竹皮を開いて海苔巻を分け与え、学生マントで覆って寝かせたことが描写されています。この学生は後藤孟（はじめ）氏という人物がモデルになっており、小説の内容がおよそ事実の通りであったことが後藤氏と川端の双方から語られています。後藤氏は伊豆の踊子文学碑の除幕式に出席しており、そこで2人は船上以来およそ半世紀ぶりの再会を果たしました。

「伊豆の踊子」の世界

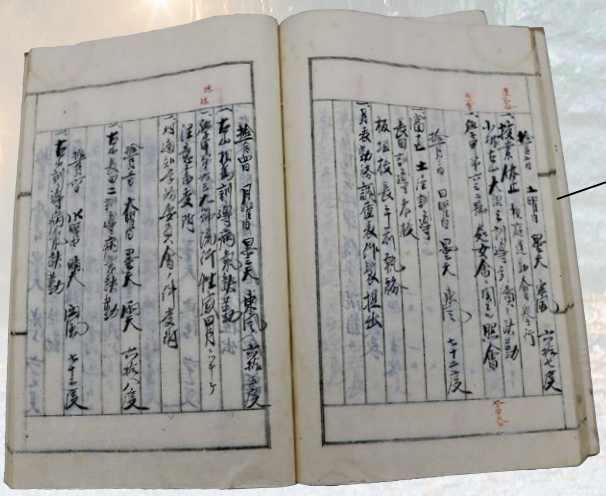
『伊豆の踊子』の舞台となった河津には、作品にまつわるさまざまな物語が残されています。今回の取材では、作品をより深く知る手がかりに出会いました。河津に残る「伊豆の踊子」を3つの視点からたどります。

天気は雨？晴れ？

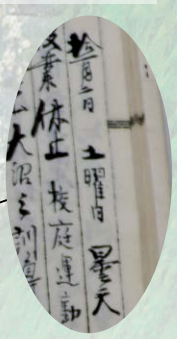
伊豆の踊子の作中には天城トンネルを境に天気が違うように書かれています。湯ヶ島側では「雨脚が凄まじい早さで追ってきて―そのうちに大粒の雨が私を打ち始めた」とあり、河津側では「いい塩梅で晴れた」「山や空の色までもが南国らしく感じられた」と晴れのように書かれています。

伊豆の踊子について元河津町教育長の鈴木基さんにお話を伺った時に、1冊の旧河津西小学校の校務日誌を見せてくれました。基本的に校務日誌は5年間の保管が義務付けられていますが、西小の校務日誌はなんと明治時代から保管してありました。表紙には大正7年度上河津尋常高等小学校校務日誌。川端康成が大正7年11月2～4日に福田家に宿泊した時のものです。日誌では2・3日の天気は曇天と書かれていました。また、沼津測候所には当時の湯ヶ島は快晴だったという記録が残っているそうです。

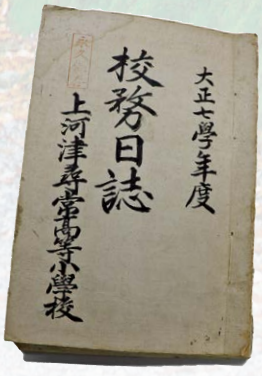
山の天気は変わりやすいので、詳細は定かではありませんが、天候の描写はトンネルの前後で世界観を一変させることを意図にしたフィクションである可能性が高そうです。



▲川端康成が天城越えをした日の日誌



◀拾一月二日　土曜日　曇天



▲上河津尋常高等小学校校務日誌

実体験と物語の間

主人公は誰？

伊豆の踊子は川端康成の実体験を元に書かれた作品として有名です。今回取材をしている中で伊豆の踊子の主人公は誰？と問われた時に私たちは踊子？私？川端康成？と意外に悩みました。川端康成がノーベル文学賞を受賞した時に川端宅にお手伝いさんとして入っていたという福田家の女将、稲穂照子（てるこ）さんは「小説は川端自身の19歳の思い出であり、ほとんどは事実。書き足したものはないが削ったものはある」と話します。作中での天気についても多少フィクションでした。

川端康成の実体験が元ということに引っ張られて主人公も川端だと錯覚してしまうかもしれませんが、伊豆の踊子は経験を元にして作られた作品であり、あくまでも主人公は「私」なのだと考えさせられました。


▲当時の様子を語る稲穂さん


▲稲穂さんの説明に聞き入る協力員


▲福田家のロビーでくつろぐ川端康成
（福田家 写真提供）


▲川端康成と稲穂さん
（福田家 写真提供）


◀川端康成が泊まった福田家の部屋

あの日、川端康成が見た像



▲河津駅


▲初景滝

川端康成が見た唯一の像

現在河津町には4ヶ所に伊豆の踊子の像があります。1番に思い浮かぶのは初景滝ではないでしょうか？この像は「踊子と私」といい、昭和52年に七滝観光協会の依頼で西伊豆の彫刻家・堤達男氏が制作し、建てられて49年が経つ像です。河津駅にある像は平成28年に伊豆急行からの提案を受けて町が設置したものであり、今年2月でちょうど10年を迎えました。他にも湯ケ野町営駐車場や、町内ではないですが湯ヶ島の浄蓮の滝にもあります。そのほとんどが川端康成が亡くなった後に建てられたものです。

しかし福田家にある踊子の像と文学碑は、生前の昭和40年11月に建てられました。川端本人は文学碑などの建立は良く思っていなかったそうですが、当時の河津の人々が足しげく鎌倉の自宅に通うなどしてなんとか了承されました。福田家の先代の女将さんも良い猪肉が手に入ると直接鎌倉まで持って行くなど深い交流があり、もしかしたらこのような交流も了承のきっかけになったのかもしれません。

昭和40年11月12日に行われたこの文学碑の除幕式には川端康成も訪れて像や文学碑を目にしています。その7年後に亡くなっているので、この像が唯一目にして公認した像となりました。


▲浄蓮の滝



▲湯ケ野町営駐車場


▲福田家



踊子歩道を歩く

踊子歩道は、川端康成の「伊豆の踊子」の舞台となった天城路を歩くことができる遊歩道です。旧天城トンネルをはじめ、物語に登場する場所をたどることができます。

私たちが旧天城トンネルを歩いたとき、河津側は曇り、湯ヶ島側は霧がかかっていました。作中に描かれるようなはっきりとした天気の変化はありませんでしたが、少しだけ物語の世界に入り込んだような気分を味わうことができました。

踊子歩道は、どこか懐かしさを感じるレトロな雰囲気があり、近くを流れる川のせせらぎも相まって、風情のある道です。

かつては、旅館の宿泊客が浴衣姿で踊子歩道を歩く姿をよく目にしたそうです。現在は旅館も減ってしまいましたが、かつてのようなにぎわいが、またこの場所に戻ってくることを願っています。





「伊豆の踊子」の昔と今

小説『伊豆の踊子』100周年。作品は映画や舞台となり、今もさまざまな形で親しまれています。

昔







▲映画の撮影の記録

『伊豆の踊子』は1933年～1974年までに6度映画化されました。田中絹代、美空ひばり、吉永小百合、山口百恵など、各時代を代表する俳優が踊子を演じ話題を集めました。

今





▲第34回河津桜まつりでの演出の様子

2023年、公益財団法人静岡県舞台芸術センター（SPAC）により「観光演劇」として舞台化された『伊豆の踊子』。初演から場所や演出を変えながら上演を重ね、今年も100周年に合わせて再演されています。

受け継がれる物語

町では、作品を読み、感じたことを言葉にする「伊豆の踊子読書感想文コンクール」を開催。今年で第10回を迎えました。

河津中学校では、国語の授業で『伊豆の踊子』を読む機会を設けています。作品を通して、河津の風景や歴史に触れることは、今を生きる子どもたちにとって、作品を身近に感じるきっかけにもなっています。

今では、小説だけでなく「踊り子号」「踊子歩道」、お菓子など、さまざまなところでその名前を目にします。

100年前に生まれた物語は、時代とともに姿を変えながら、今も伊豆の中に息づいています。

《記事参考》
西河克己（1194）「伊豆の踊子」
物語フィルムアート社



3


2


1


5


4



8



7


6

1．踊子歩道を歩く　2．福田家へ向かう　3．稲穂さんと一緒に記念写真
4．鈴木さんにお話を聞きました　5．伊豆の踊子文学碑　6．旧天城トンネル　7．福田家の暖簾　8．順路に沿って文学碑へ！

Voice ～取材を終えて～



今年度から協力員になりました。名作ということで既に文学的研究が数多く行われている中、新しい視点で特集を作ることに苦心しました。

深谷 真央（ふかや まひろ）

伊豆へ来て初めて踊子歩道を歩き、また新しい河津を発見できました。伊豆の踊子の歴代の映画を制覇したいです。

福司 美希（ふくし みき）





中学生の時に読んだきりで、当時は全然理解できなかったけど10年以上経ってから取材を通して学べたことはいい機会でした。

相馬 大夢（そうま ひろむ）

『伊豆の踊子』という作品を読んだことがありませんでしたが、自分が今住んでいる町の当時に思いを馳せながらした取材は楽しかったです。

相羽 勇仁（あいば ゆうと）



まちの出来事



▲息を合わせて踊りを披露



▲親子で「はらぺこあおむしの大冒険」



▲ゴールに向かって全力で走りました

元気いっぱい運動会

さくら幼稚園　運動会

さくら幼稚園運動会が10月15日、河津小学校グラウンドで開催され、園児はかけっこやリズム競技に挑戦しました。リズム競技では音楽に合わせて元気いっぱいに体を動かし、友達と心を一つにして、練習の成果を披露しました。園児が一生懸命に頑張る姿に、会場からは温かい拍手や声援が送られました。親子競技も行われ、園児は家族や友達と一緒に、笑顔あふれる楽しいひとときを過ごしました。

にぎわいあふれる日曜日

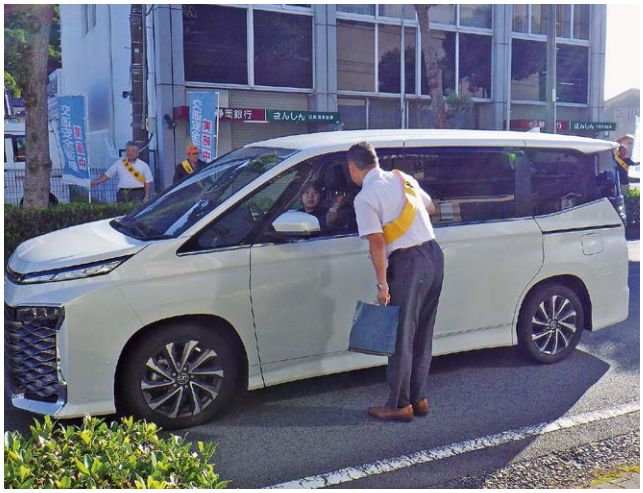
第52回河津寄って軽トラ市

第52回河津寄って軽トラ市が９月27日、姫宮通りで開催されました。当日は、町内外から28の事業所、団体が出店しました。普段は車が行き交う通りが、道行く人とのおしゃべりや出店者とのやりとりが広がる交流の場としてにぎわいました。商工会建設部会による木工体験「とんとんコーナー」も開設され、子どもから大人まで、ものづくりを楽しみました。



来場者でにぎわう姫宮通り

安全運転を呼びかける



交通事故防止を呼びかけ

秋の全国交通安全運動

秋の全国交通安全運動（９月21日～30日）の期間に先立ち９月18日、河津駅周辺で街頭指導・広報活動が行われました。交通事故防止を目標に、交通安全運動ののぼり旗を持った町交通安全対策委員や交通安全協会の理事ら30人が、通学中の子どもや通勤中のドライバーに啓発品を配布し、交通安全に対する注意を呼びかけました。

スマホの困りごとを相談

スマホ教室

町主催の「スマホ教室」が10月14日からスマホライフ＝浜＝で始まりました。電話やカメラなどの基本操作から、アプリの活用、河津町 LINE 公式アカウントの登録方法まで、参加者のスキルに合わせて学ぶことができます。参加無料で、３月31日まで開催予定です。講師は「買い物ついでに１回10分～20分で受講可能です」と参加を呼びかけました。



スマートフォンの操作方法を学ぶ参加者

果実ひとつひとつに袋掛けをする



みかん農家の作業を体験

生活価値体験ツアー　みかん農家体験

河津町の生活価値を体験する「みかん農家体験」が10月10日見高入谷で開催されました。県内外から集まった７人の参加者はみかんの袋掛け作業や、収穫作業を体験し、生産者から作業の手順や栽培への思いを聞きながら交流を深めました。参加者は「貴重な体験になった」と話し、農業の大変さと魅力を実感していました。

健康の秋

学んで、おいしく食育

ヘルスメイト研修

河津町健康づくり食生活推進協議会（食推協）は９月25日、「学んで、おいしい。大人の食育講座」を保健福祉センターで開催しました。

食推協を知ってもらおうと、定期開催しているヘルスメイト研修を初めてオープン講座として実施し、子育て世代を含む８人、会員９人が参加し調理実習などを通して食に関する知識を深めました。

参加者は「ミルク親子丼」「ナスのごま和え」「白玉だんごのフルーツ添え」を調理しました。ナスのごま和えは郷土料理で、会員の島崎公子（きみこ）さんが、お盆に赤飯と一緒に仏壇に供える風習を紹介しました。

県健康福祉部や賀茂健康福祉センター職員による講話では、食の安全性や食品表示、大人の食育について学びました。

参加者は会員からアドバイスを受けながら調理し、出来立ての料理を味わい交流を楽しみました。



▲手順を確認しながら調理する参加者



▲出来立ての料理を囲んで交流



▲綺麗に盛り付け



▲１年前の10月１日
河津町民になった私を迎えてくれた彼岸花

河津町地域おこし協力隊通信

にゃんダフルライフ

vol.3



藤塚　美佐子（57歳）

千葉県出身。2025年10月、河津町地域おこし協力隊に着任。社会福祉協議会にて、高齢者福祉を担当。

行雲流水

河津町民になったあの日、役場へ向かう私を道端に咲く沢山の真っ赤な彼岸花が迎えてくれました。今あちこちで咲き始めた彼岸花を見ると「あれから一年経ったんだな…」と感慨深い思いがします。

介護の資格を持っていたことから地域福祉事業担当として地域おこし協力隊に採用して頂きましたが、そもそも自分が介護職に就くとは夢にも思っていませんでした。身近な人が難病を患い、自分に出来ることは何かと考えて始めたのが介護の勉強だったのですが、それが河津への移住に繋がることになろうとは！

現在は社会福祉協議会でComodo（高齢者サロン）や移動支援、障害者社会学級などの業務をしていますが、他にもデイサービスのお手伝いをしています。Comodoでは健康マージャン、クラフトバッグ作成、パークゴルフ…私自身も初体験のものばかりでしたが、中でもハンドリラクゼーションから派生してライセンスの資格も取らせてもらいました。まさか自分がセラピストになろうとは！

私は運命論者でも宗教家でもありませんが、それでも人生には時として自分の意思だけでは説明できない不思議な流れがあるのかもしれません。これからも空を行く雲や流れる水のように、自然の成り行きに身を任せながら自分らしく過ごしていけたらいいなと思います。

かわづ 今昔 ものがたり

幻の花田の湯 ～峰温泉物語～

沢田林際寺の開山松嶺（しょうれい）和尚は手足のしびれる病気に苦しんでいました。このころ伊豆を統治していた上杉憲方（うえすぎのりたか）に相談し、河津の峰にあった縹（はなだ）（縹田・花田）の湯に浴し、小さなあばら家で一年を過ごしました。ここが林際寺の前身となりました。林際寺の創立は1362年なので、その頃の話です。1530年から1560年代の古文書に、「河津之湯」とあり、縹の湯のことと思われます。

ところで「縹の湯」の「縹」は、温泉が縹色であることから名づけられました。薄い藍色のことです。花田とも書かれるのはツユクサで染めたから、またはツユクサの花の色から名付けられたとも言われています。

しかし江戸時代の記録によると、昔は浴客があったが、今は勢いが弱く、淡水が混じり浴槽があるが浴する人は少ないとあります。そのためか、明治・大正時代の伊豆・南伊豆の観光案内にもほとんど記載されていません。

峰温泉が再び脚光を浴びるのは、大正15年（1926年）大噴湯の掘削とその近くに旅館が建てられたことでした。それをきっかけに広く知られる温泉場となりました。

（文　宮本　達希さん）



▲昭和32年頃の峰温泉



▲稲葉時太郎氏と大噴湯（昭和32年頃）

今はなき、かつての河津を知る人から知られざる「かわづ」の姿を話していただきました。

今月号も引き続き町史編さん委員の宮本達希（たつき）さんに記事を担当していただきます。

11 図書館カレンダー November 2026

1 SUN
2 MON 休館日
3 TUE 休館日（文化の日）
4 WED 時間のはこぶね
5 THU はらぺこあおむしの会
6 FRI
7 SAT
8 SUN
9 MON 休館日
10 TUE
11 WED 時間のはこぶね
12 THU はらぺこあおむしの会
13 FRI
14 SAT
15 SUN
16 MON 休館日
17 TUE
18 WED 時間のはこぶね
19 THU はらぺこあおむしの会
20 FRI
21 SAT 幼児のおはなし会
22 SUN
23 MON 休館日（勤労感謝の日）
24 TUE 休館日（振替休日）
25 WED 時間のはこぶね
26 THU はらぺこあおむしの会
27 FRI
28 SAT
29 SUN 休館日（館内整理）
30 MON 休館日

おはなし会

◆小学生向け…時間のはこぶね（毎週水曜15:50～16:20）
◆乳幼児向け…はらぺこあおむしの会（毎週木曜10:30～10:50）
◆幼児向け…幼児のおはなし会（第3土曜10:00～10:30）

町立文化の家

図書館だより

No.283



https://www.town.kawazu.shizuoka.jp/library/
〈開館時間〉 9時～18時 土・日は17時まで
〈休 館 日〉 月曜・祝日・月末日
問 町立文化の家図書館 ☎34－1115

★大人の読書スタンプカード始まります



今年も「大人の読書スタンプカード」をカウンターで配布しています。
※今年中はスタンプ2倍！
※11月中に7冊借りるとプチプレゼント！
※スタンプ40で景品プレゼント!!
有効期限：令和9年3月30日まで

★保存期限が過ぎた雑誌を無料で配布します★

開　始　12月2日(水)～　雑誌がなくなり次第終了
場　所　町立文化の家図書館
※1人10冊まで。持ち帰り用の袋は各自用意してください。
人気の雑誌はなくなりますので、お早めにお越しください。

★図書館日記★ 桂 紋四郎 落語会 9月6日

上方落語家・桂紋四郎さんを迎え、落語会を開催しました。町内外から多くの来場者が訪れ、会場は笑いと拍手に包まれました。軽妙な語りに皆が聞き入り、大好評のひとときとなりました。



新着図書案内

ほかにも新着図書があります。
貸出中の場合は予約できます。

書　名（一般書）	著 者 名	出 版 社	書　名（児童書）	著 者 名	出 版 社
極限の漂流118日間	ソフィー・エルムハースト / 著	ダイヤモンド社	47とどうふけんをおぼえる妖怪ずかん	朝里 樹 / 妖怪監修	文響社
図解知識ゼロからのコメ入門識	西川 邦夫 / 監修	家の光協会	算数パズルの学校	高木 徹 / 監修	ニュートンプレス
よくわかる最新発酵の基本と仕組み	齋藤 勝裕 / 著	秀和システム新社	食べ物で広がる世界	のいぷらこ / マンガ・イラスト	旺文社
体力おばけへの道	澤木 一貴 / 著	KADOKAWA	空港のひみつ	「空港のひみつ」編集室 / 著	メイツ出版
そして少女は加速する	宮田 珠己 / 著	幻冬舎	ハチミツとミツバチ	アン・ロックウェル / 作	好学社

かわづで子育て
かわいく

■健康相談および母子健康手帳交付
と　き　11月16日(月)、12月7日(月)
　　13時30分～15時30分
ところ　保健福祉センター
持ち物・妊娠届出書（病院で配付された場合は持参）
　　・個人番号カード
　　・通帳など振込先の分かるもの（妊婦本人のもの）

❀かわづっこひろば11月のイベント❀

■育児相談
と　き　11月13日(金)
　　10時～11時30分
対象者　子育て中の保護者
内　容　身体測定、離乳食や子どもの食事に関する相談、育児相談、歯科相談、フッ素塗布
持ち物　母子健康手帳

■わくわくびより
と　き　11月15日(日) 13時30分～

■11月生まれお誕生日会
と　き　11月27日(金) 10時40分～

■遊 VIVA! ビートがやってくる！
と　き　11月29日(日)
　　10時30分～11時
問 かわづっこひろば　☎36－3175

河津町24時間電話健康相談ダイヤル
育児・医療・健康・介護について
専門スタッフが相談に応じます
☎0120-560-655（年中無休）

今月のテーマ

食推おすすめレシピ

健康増進課　☎34－1937

ミルク親子丼

＜提供＞ 河津町健康づくり食生活推進協議会

親子丼は、誰もがなじみのあるメニューのひとつでしょう。
今回は、「簡単・おいしい・栄養バランス◎」の丼ものの紹介をします。肉や野菜を炒めて牛乳と白だしで煮込み、仕上げにチーズをプラス。たんぱく質とカルシウムをしっかり摂ることができるメニューです。
塩分は少なく、やさしい味わいに仕上がるように工夫しました。子どもから年配の方まで、幅広い世代におすすめできる味付けになっています。
副菜には、お浸しや酢の物などを添えて、バランスよく召し上がってください。

■ 材料（約６人分）
・鶏もも肉（皮なし）……300g
・玉ねぎ……120g
・しいたけ……３枚
・人参……90g
・サラダ油……小さじ２
・牛乳……200ml
・白だし……大さじ４
・溶き卵……６個
・ピザ用チーズ……80g
・小ねぎ（小口切り）……適量
・あらびき黒こしょう……お好みで
・ご飯……720g



【1 人分】この表示値は目安です。
・エネルギー　385kcal
・たんぱく質　22.6g
・脂質　8.1g
・カルシウム　226mg
・食塩相当量　2.0g

■ 作り方
❶鶏もも肉は食べやすい大きさに切る。玉ねぎ、しいたけは薄切り、人参は千切りにする。
❷フライパンにサラダ油を中火で熱し、①の鶏もも肉を入れて香ばしく焼き、火を通す。玉ねぎ、しいたけ、人参を加えてさっと炒め、牛乳と白だしを入れる。
❸②が煮立ったら、具を均一にならしてから溶き卵の半量を回し入れ、蓋をして１分半煮る。
❹③に残りの溶き卵を回し入れ、ピザ用チーズを加える。蓋をして好みの加　減に火を通す。
❺器にご飯を盛り、④をのせて小ねぎを散らす。好みで、あらびき黒こしょうをかける。

乳がん・子宮頸がん検診、
歯周病検診のお知らせ

検診を受け忘れていませんか？

乳がん、子宮頸がん検診、歯周病検診を実施しています。対象の方には、郵送にてお知らせしましたので、この機会にぜひ受診しましょう。
問 健康増進課　☎34－1937

	対象者	医療機関	負担金	実施期間
乳がん検診	40歳以上の女性で昨年度受診していない方	伊豆今井浜病院 下田メディカルセンター	1,300円 (70歳以上は無料)	≪要予約≫ ２月末まで (実施日は医療機関によって異なります)
子宮頸がん検診	20歳以上の女性で昨年度受診していない方	伊豆今井浜病院 下田メディカルセンター 臼井医院	1,700円 (70歳以上は無料)	
歯周病検診	今年度 20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳になる方	中村屋歯科医院 いとこ歯科クリニック 石原歯科医院 ワンズデンタルクリニック その他 賀茂管内歯科医療機関	無　料	

10月4日執行　町議会議員選挙結果

町議会議員10人が決定






▲初当選した植松議員（右上）渡邊昌宏議員（左上）相馬議員（右下）後藤議員（左下）

投票率は63・45％

任期満了に伴う河津町議会議員選挙が10月4日に行われ、即日開票されました。

今回の選挙は、定数10人に対して現職7人、新人5人の計12人が争う少数激戦となりました。

当日の有権者数は男性2592人、女性2815人、計5407人、投票総数は3431人でした。投票率は63・45％で前回に比べて1・96ポイント下回りました。町議会議員の任期は4年間です。

議長に桑原議員

選挙後初の町議会が10月13日に行われ、正副議長をはじめとする議会人事が決まりました。議長に桑原猛議員、副議長には渡邊昌昭議員が選任されました。

結果	氏名	得票数
当選	植松智子	634票
当選	渡邊昌宏	400.566票
当選	桑原猛	341票
当選	上村和正	338票
当選	渡邊昌昭	306.433票
当選	相馬謙一	301票
当選	遠藤嘉規	263票
当選	正木誠司	234票
当選	後藤美南子	231票
当選	北島正男	172票
	武田洋平	120票
	福沢宏幸	68票

有効投票数　3,409票
無効票　22票

河津町水道委員会答申書提出

水道料金の改定を答申



▲大川町長に答申書を渡す重永委員長（右）

10月8日、大川良樹町長から河津町水道委員会へ諮問されていた件について、水道委員会から答申書が提出されました。河津町水道ビジョン・河津町水道事業経営戦略案については、計画として妥当であるとし、水道料金については、令和10年度に現行料金から30％増額し令和15年度にさらに30％増額する案と、令和10年度に45％増額する案が提案されました。町長は「水道事業の維持は重要な課題であり、しっかりと経営戦略を立てて、迅速に取りかかる」と述べました。

※町ホームページにて答申書を公開しています。

明治安田生命寄附贈呈式

大会のさらなる盛り上がりに



▲関口所長からの寄附を受け取る大川町長

明治安田生命下田営業所の関原綾介所長は10月19日に、河津フラワートライアスロン大会実行委員会へ72万5千5百円を寄附しました。同社が展開する「地元元気プロジェクト」の一環で、従業員の出身地など思い入れのある地域を指定して行う任意の募金と、会社からの寄付金によるものです。関原所長は「地元のイベントに協力できるのはありがたい」と話し、河津フラワートライアスロン大会の開催に向けて激励をしました。

生涯学習情報 はつらつ

■編集・発行　河津町教育委員会社会教育係
☎34－1117　FAX 34－0295　kyouiku@town.kawazu.lg.jp

No.71　2026秋号

8/21 親子で陶芸を体験
親子やきものづくり教室

にこにこファミリークラブ「親子やきものづくり教室」が8月21日に行われ、18人が参加しました。河津町陶芸同好会の方々を講師に迎え、参加者は講師の指導のもと、皿やカップなど、自分の作りたい作品を思い思いに作りました。


▲講師に教わりながら陶芸を楽しむ参加者

7/28~29 海で活動し交流を深めたキャンプ
ふるさと緑の少年団　サマーキャンプ

町内の小学４～６年生が参加する、ふるさと緑の少年団のサマーキャンプが、７月28日から29日まで西伊豆町で行われ、団員20人が参加しました。団員らは、シーカヤックや海遊び、ペットボトルランタン作りなどの体験を楽しみ、団員同士の交流を深めました。


▲シーカヤックに乗り自然を感じる団員

9/3.10 17.24 はじめてのエッセー書き方講座
生涯学習講座さくらアカデミー

「はじめてのエッセー書き方講座」が９月３日、10日、17日、24日、町立文化の家で開催され、７人が受講しました。講座では、長崎良夫さん＝田中＝を講師に迎え、エッセーの基本を学びました。受講者は、自分の体験や思いを文章にする楽しさを味わいました。


▲エッセー執筆に取り組む参加者

9/27 さまざまなスポーツを楽しむ
河津町ニュースポーツフェスタ

河津町ニュースポーツフェスタが９月27日、河津小学校体育館で行われ、51人が来場しました。会場では、子どもからシニア世代までが楽しめると近年注目されているニュースポーツのスカットボールやモルックなどを多くの人が楽しみました。


▲モルックを楽しむ参加者

令和8年度『河津町二十歳（はたち）の集い』

今年度も「二十歳の集い」を次のとおり開催します。

とき　令和９年１月10日㈰ 10時開式

ところ　河津中学校体育館

対象　平成18年４月２日生～平成19年４月１日生



スマホから申込ができます

第27回

しずおか市町対抗駅伝

令和8年12月5日(土) 10時　静岡県庁本館前スタート

第27回しずおか市町対抗駅伝競走大会が12月５日に静岡市で開催されます。
大会に出場する河津町派遣選手団の選手21人が決まりましたので紹介します。
選手は当日に向けて練習を重ねています。みなさんの応援をよろしくお願いします。

河津町派遣選手団紹介

監督：大坪　宏(ひろし)さん　コーチ：片山径介さん



堤　壱翔(いちと)さん
河津小４年 ＝筏場＝



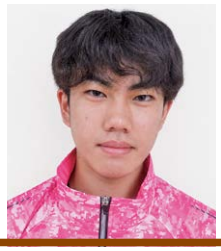
村串　翼太(ようた)さん
河津小６年 ＝上峰＝



稲葉　玲奈(れいな)さん
河津小６年 ＝笹原＝



土屋　実緒(みお)さん
河津小６年 ＝上佐ケ野＝



金指　竣大(しゅんた)さん
河津中２年 ＝田中＝



田畑　脩蔵(しゅうぞう)さん
河津中２年 ＝下峰＝



平川　和空(わく)さん
河津中２年 ＝浜＝



村串　颯飛(はやと)さん
河津中２年 ＝上峰＝



遠藤　日心(にこ)さん
河津中１年 ＝浜＝



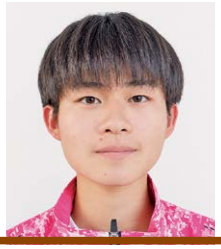
加納　史穂(しほ)さん
河津中１年 ＝谷津＝



堤　優芽果(ゆめか)さん
河津中２年 ＝筏場＝



酒井　聖夜(のえる)さん
河津中３年 ＝笹原＝



武口　陸斗(りくと)さん
稲取高２年 ＝谷津＝



加納　春輝(はるき)さん
下田高３年 ＝谷津＝



村尾　奏空(そら)さん
伊豆伊東高３年 ＝下峰＝



鈴木　丈太(じょうた)さん
＝浜＝



山下　永吉(えいきち)さん
＝笹原＝



中谷　桐子(きりこ)さん
＝所縁※＝



稲葉　愛美(まなみ)さん
＝下佐ケ野＝



片山　径介(けいすけ)さん
＝大堰＝



村串　弘親(ひろちか)さん
＝上峰＝

走行区間

第１区	第２区	第３区	第４区	第５区	第６区
3.673km	1.903km	1.715km	3.549km	6.855km	3.911km
中高女子	小学男子	小学女子	中高女子	高校男子	40歳以上男女

第７区	第８区	第９区	第10区	第11区	第12区	1,500mレース
3.564km	3.02km	1.619km	3.051km	4.31km	5.025km	
中学男子	中学女子	小学男女	一般女子	中高男子	一般男子	小学男女

※所縁…第26回しずおか市町対抗駅伝から参加資格要件が緩和され、その市町が所縁があると認めた者を選出できるようになりました。

今月の納税

後期高齢者医療保険料４期
11月30日(月)が納期です。
問 健康増進課　☎34－1937

国民健康保険税５期
11月30日(月)が納期です。
問 町民生活課　☎34－1928

マチイロ
広報かわづ配信中

お知らせ

アンケート調査にご協力を

（一社）美しい伊豆創造センターは伊豆地域の住民の皆さんが観光客の受け入れに対して持つ思いを調査するため「観光に関する住民満足度調査」をアンケート形式により行っています。

対　象　18歳以上の住民
期　間　11月1日(日)～12月31日(木)
方　法　QRコードより回答をお願いします。

問 美しい伊豆創造センター
☎0558－72－0280

静岡県最低賃金改良

静岡県内の事業場で働くすべての労働者（パート・アルバイト等含む）に適用される「静岡県最低賃金」が改正され、令和８年10月15日から「時間額1,154円」となりました。なお、特定の産業には特定（産業別）最低賃金が定められています。

賃金改定に当たっては、「業務改善助成金」ほか各種支援策を御活用ください。

問 静岡労働局賃金室
☎054－254－6315
三島労働基準監督署下田駐在事務所
☎27－2766

11月11日から17日は「税を考える週間」です



テーマ
これからの社会に向かって

国税庁では、毎年11月11日から17日を「税を考える週間」として、**国税庁ホームページ**で様々な情報を提供しています。

詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。
https://www.nta.go.jp
税を考える週間　検索

救命講習（定期開催）の開催

下田消防本部では、応急手当の普及啓発のため、令和８年度から救命講習を定期的に開催します。受講を希望される方は次の事項を確認の上、申し込みください。

詳細は下田消防本部公式ホームページ又は日程表・申込フォームからご確認ください。

▲ホームページ　▲申込フォーム

人　数　各回20人
※定員に達し次第締め切り
対　象　下田消防本部管内に在住・在勤または在学の中学生以上の人

問 下田消防署救急係
☎22－1889

万引きは犯罪です

下田警察署管内で今年９月26日までに、万引きが15件発生しており、昨年同時期に比べ４件増加しています。（速報値）

お金を持っていても使いたくない、見つからなければ大丈夫と軽い気持ちで万引きをしてしまう人がいるようですが、万引き犯罪です。

お店側も店内の死角には特に注意し、防犯カメラやミラーを付けるなどの防犯対策を心がけ、お客様には積極的に声かけをするなど、万引きをさせない店づくりをしましょう。

公式LINEをはじめました。サギ電話多発時はメッセージでお知らせするほか、防犯対策や不審者情報等を配信します。QRコードを読み取ってください。

公式 LINE▶

問 下田警察署管内防犯協会
☎27－2766

11月・12月は滞納整理強化月間

町の強化月間の取り組み

滞納している税金がある人には、滞納している期間や滞納額の多少に関わらず、一斉に催告書を発送します。催告に応じない場合は、金融機関や生命保険会社、勤務先、取引先への財産調査を行い、調査結果に基づき財産を差し押さえる滞納処分を行います。

差し押さえ前に連絡をしたり、同意を取ったりすることはありません。

また、滞納者の了解なく自宅などを捜索することがあります。

納め忘れをなくすために

町税は、役場や金融機関、コンビニで納める以外に、スマホの決済アプリでも納付可能です。また、口座振替を行う場合は、金融機関（三島信用金庫、静岡銀行、富士伊豆農協、スルガ銀行、静岡中央銀行郵便局）で手続きができます。

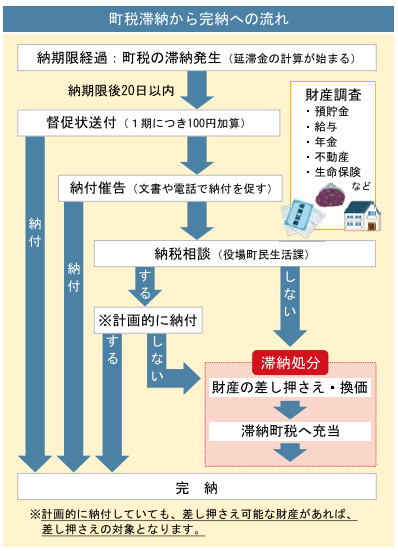
納期限を過ぎると納期限の翌日から納付された日までの日数に応じて延滞金が発生し、更に納付額が多くなります。

あなたに合った納付方法で納め忘れをなくしましょう。

納付困難な場合は納付相談を

失業や事業の廃止、災害や盗難被害、本人や家族の病気など、やむを得ず納期限までの納付が困難な場合、まずはご連絡ください。完納に向けた納税相談を行っています。

問 町民生活課徴収係　☎34－1928



ひとの動き

戸籍だより

（9月1日～30日届出）



※このコーナーに掲載を希望しない場合は、お申し出ください。

人口と世帯

（10月1日現在）

人　口	6,090 人	前月比	（－18）
（男）	2,937 人		
（女）	3,153 人		
世帯数	3,191 世帯	前月比	（－9）

相　談

身近なこと生活相談へ

と　き　12月2日（水）10時～15時
ところ　ふれあいホール
問 社会福祉協議会　☎34－1286

人権・行政相談

と　き　12月2日（水）10時～15時
ところ　ふれあいホール
問 町民生活課窓口係　☎34－1932

日本年金機構出張相談

三島年金事務所の職員が年金制度についての質問や年金の請求、各種書類の提出などを受け付けます。電話予約が必要です。

と　き　12月3日（木）
11時～12時、13時～16時
ところ　下田市役所（要予約）
問 下田市役所市民保健課
☎22－3922

と　き　12月8日（火）
10時30分～12時、13時～15時
ところ　河津町役場（要予約）
問 健康増進課保険年金係
☎34－1937

介護・法律相談

と　き　11月11日（水）
介護相談　10時～12時
法律相談　13時～15時
ところ　地域子育て支援センター
法律相談は事前に予約してください。
問 社会福祉協議会　☎34－1286

介護相談

介護に関するお問い合わせ、相談を受け付けています。

と　き　月曜日～金曜日
9時～16時　随時受付
ところ　サンシニア河津　相談室
問 サンシニア河津　☎32－3203

障害者のための就労相談会

障害のある人の就職や生活面での相談、障害のある人たちを雇用する事業主などの相談に応じます。事前に予約してください。

と　き　11月17日（火）
13時30分～15時30分
ところ　保健福祉センター相談室
問 賀茂障害者就業・生活支援センター「わ」
☎22－5715

保育出張相談会

と　き　11月6日（金）
13時30分～15時30分
ところ　ハローワーク沼津
内　容　保育職のためのミニセミナー、保育施設説明会、就職相談
対　象　潜在保育士、保育士を目指す人、保育士の仕事に興味がある人
問 しずおか保育士・保育所支援センター
☎054－271－2110

社会保険労務士無料相談会

県社会保険労務士会三島支部下田地区会では、労働・社会保険に関する無料相談会を行います。お気軽にご利用ください。（予約不要）

と　き　12月4日（金）10時～15時
ところ　ハローワーク下田1階会議室
内　容　年金、社会保険、労働に関する悩み、ハラスメント、その他労務管理上の疑問等
問 静岡県社会保険労務士会三島支部下田地区会
☎090－5866－3814

出張がんよろず相談

がんに関する疑問や不安、悩みについて、専門スタッフが相談に応じます。

と　き　12月11日（金）
13時～16時
ところ　下田総合庁舎
対　象　賀茂地区に在住・在勤の人
定　員　4組（予約制・先着順）
申　込　11月4日（水）～11月25日（水）
9時～16時（土日・祝日を除く）
問 静岡県立静岡がんセンター
☎055－989－5392

kawazu－jin

河津人



▲仲良く仕込みをしている様子

笑顔が集う店をつくりたい

河津駅前にオープンした「こんぴら家」を営む伊藤卓司さんと智里さんご夫婦。東京で暮らしていた2人が河津で店を始めたきっかけは、智里さんの実家に遊びに来たとき、もっと気軽に食事できる場所があったらいいのになと感じたことでした。自分たちで店をやってみようと決意した2人は、開店準備を進めるとともに早期退職し、河津での新しい生活をスタートさせました。観光客で訪れた人はもちろん、地元の人が気軽に立ち寄れるお店を目指しています。

開店当初は料理の提供が遅くなり、お客さんを待たせてしまうこともありました。それでも話し合い、工夫を重ねながら一つずつ改善していき「最初は無口だったお客さんが今では常連になり、笑顔で帰っていく姿を見ると嬉しい」と話してくれました。取材中も、仲の良い2人の掛け合いが印象的でした。

麺や出汁の仕込みで忙しい毎日ですが、卓司さんは「余裕ができたら趣味のゴルフもしたい」と話します。河津は海も山もあるので、いろいろな場所に足を運び、町の魅力を感じてもらいたいです。ゆくゆくは憩いの場として店舗2階の活用や、外出が難しい人にも、おいしいうどんを届けられるよう、出前にも挑戦したいと意気込みます。

河津で新たな一歩を踏み出した、2人のこれからの活躍に期待が高まります。

【取材】福司 美希さん（民間広報協力員）



こんぴら家

伊藤 卓司（たくじ）さん（51歳）

智里（ちさと）さん（50歳）

ー浜ー

令和８年７月、「こんぴら家」をオープン。東京から智里さんの出身地である河津町に移住し夫婦で店を営む。北海道産の昆布やいりこを使っただしにこだわり、地元の人が気軽に立ち寄れる店づくりに取り組む。

編集後記

民間広報協力員特集号を通して、改めて『伊豆の踊子』について知ることがたくさんありました。特に印象に残ったのは、天城トンネルを境に変わる天気の描写です。作品の中で、描かれる風景や天気に注目して読むと、また違った面白さがあることを知りました。普段何気なく通っている場所も、作品を通して見ると新たな発見があるかもしれません。今回の特集が皆さんにとっても河津町の魅力を再発見できるきっかけになればうれしいです。（k）

姉妹都市 長野県白馬村通信

白馬村村制施行70周年記念式典



白馬村は９月26日、協和ウイング白馬で村制施行70周年記念式典を開催しました。式典では、記念ロゴマーク採用者や村政功労者の表彰、記念映像の上映、記念講演が行われ、村の70年の歩みを振り返りました。また、新たに創設された白馬村文化大使に、民俗・日本思想史家の田中欣一氏と、元ノルディック複合日本代表の渡部暁斗氏が任命されました。白馬村の民俗・歴史文化やスキー文化の、将来に渡る普及・継承していく役割が期待されます。

■発行　河津町役場　〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2 ☎ 0558-34-1111
■編集　企画調整課　■印刷 ㈲サン印刷
■河津町ホームページアドレス　https://www.town.kawazu.shizuoka.jp/　■Eメール　info@town.kawazu.lg.jp